

平成15年度「福井元気宣言」推進に係る政策合意の取組結果

(平成16年3月末現在)

「福井元気宣言」の4つのビジョンを着実に実現していくため、平成15年6月に知事と合意をした「政策合意」の取組結果について、次のとおり報告します。

平成16年3月

企業局長 寺坂 智昭

企業局の主な取組みについて

- ・効率的かつ計画的に事業を推進するとともに合理化を図ることにより、経営の健全化と利用者サービスの向上に努め、「福井元気宣言」実現のため全力で職務を遂行しました。
- ・テクノポート福井において、積極的な誘致活動と産業用地の小ロット化などの受入体制を整備することにより新規企業誘致に努めるとともに、団地内企業への工業用水の供給と下水処理を安定して実施し、本県産業の活性化と雇用の創出を促進しました。
- ・水力発電所および風力発電所における発電、良質な工業用水や水道水の供給、および適切な下水処理を安定的に進めることにより、クリーンエネルギーの確保、地下水および公共用水域の水質保全を図り、地球環境の保全に努め、「夢あるふるさとづくり」を推進しました。
- ・財務会計の経理や施設の運転管理の技術に関する研修等を職員に積極的に受講させ資質向上に努めたほか、局内ミーティングを開催し、現場主義の徹底を図りました。
- ・安全衛生に関する会議や現地研修会を多く開催したほか、職場巡視を定期的に行うなど、安全衛生管理を推進しました。

「政策合意」の取組項目に係る結果について

- ・別紙「平成15年度 取組項目に係る結果報告(企業局)」のとおり

総括コメント

- ・水力発電事業、工業用水道事業および水道水供給事業は、安定した事業経営と計画的、効率的な施設・設備の修繕・改良を進めることができ、満足できる成果を出せた。しかし臨海下水道事業においては、料金改定を行い経営の健全化を図ったが、単年度収支で利益を計上するまでには至らなかった。16年度はさらに健全経営の向上に向けて、運営の効率化を推進していきたい。
- ・風力発電事業については、運転初年度においての課題である運転管理体制の確立を果たし普及啓発に一定の成果を上げることはできたが、風速に恵まれず予定した発電量は達成できなかった。16年度は、さらに適正な設備の維持と運転管理に努めるとともに、新エネルギーの普及啓発を図りたい。
- ・福井臨海工業用地等造成事業は、計画どおり施設整備等を進め、景気の状態が依然として厳しい中、新規の企業誘致や設備投資を進展させることができたが、進出企業の撤退もあった。16年度は、新規企業誘致等に向けて、より多くの企業訪問を実施するとともに環境整備等受入体制を整備していきたい。

平成15年度 取組項目に係る結果報告 (企業局)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分] 実施し、所期の成果をあげました。 実施し、現在、取組みを継続中です。
- 未着手です。

役職	企業局長	氏名	寺坂 智昭
取組項目		取組結果	
1 経営の健全化・利用者サービスの向上 (1) 電気事業、工業用水道事業、水道用水供給事業、臨海工業用地等造成事業および臨海下水道事業について、計画的かつ効率的に施設・設備の整備を図るとともに、経費節減に努め、収益性の向上、累積欠損金の解消を進めることにより、利用料金等の上昇を抑制します。	区 分	〔成果と残した課題等〕 1 施設・設備の整備 93件 (主なもの) ・日野川地区水道用水供給事業：送水管布設等 ・テクノポート福井：区画道路整備 ふれあい自然公園(仮称)整備 ・坂井地区水道管理事務所：中央監視制御装置更新 ・滝波川第一発電所：オーバーホール	
		2 経費節減の取組み (1)工業用水道事業および水道用水供給事業において浄水処理等により発生した汚泥(廃棄物)を、有価物として売却 経費節減額 20,640千円 (2)臨海工業用地等造成事業の雨水排水施設整備計画見直し 経費節減額 約7億円 (3)事務の集約化や業務の外部委託等による平成16年度以降の人件費削減計画を策定 3 収益性向上の取組み (1)臨海下水道事業の料金改定(改定率 6%) (2)新規企業立地 1社 建築面積：2千㎡ 増加従業員数：12人 投下資本額：5億円 (3)既立地企業の工場増設 8社 建築面積：11千㎡ 増加従業員数：81人 投下資本額：26億円 4 累積欠損金の解消推進 福井臨海工業用水道事業において、経費節減、収益性の向上に取組み、累積欠損金の解消と長期借入金の返済を推進	
(2) 各事業分野における顧客情報など現場の様々な情報を共有することにより、現状分析と課題解決を図るための「局内ミーティング」を設置し、企業局に求められている利用者サービスの向上を図ります。	区 分	〔成果と残した課題等〕 1 局内ミーティング開催回数 11回 2 主なテーマ ・現場主義の業務推進 ・住民本位の業務推進方策 ・工業用水ユーザーや臨海下水道利用者(企業)からの意見分析による企業誘致戦略の検討	
(3) 快適な生活を実現するために欠くことのできない貴重な資源である水道用水を、より安全でおいしく、安定的に確保します。	区 分	〔成果と残した課題等〕 1 安全確保の取組み ・微量水中油分計等による常時監視 (平成15年8月、水源に油流出検知1件 取水停止) ・施設の警備(門扉の常時施錠、来訪者の監視) ・河川パトロールの強化(月1回 週1回) 2 水質検査の充実 基準項目(46項目:大腸菌群、ヒ素等)に、快適水質項目(13項目:マンガン、アルミニウム等)および法定外項目(クリプトスポリジウム、ジアルジア等)を追加して検査を実施	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 (企業局)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分】 実施し、所期の成果をあげました。 実施し、現在、取組みを継続中です。
- 未着手です。

役職	企業局長	氏名	寺坂 智昭
取組項目		取組結果	
2 産業の活性化 (1) テクノポート福井基本計画の目標年次である平成22年度を目途に臨海工業用地等造成事業を推進するとともに、企業誘致を積極的に展開します。	区 分	〔成果と残した課題等〕	
		1 施設の整備 22件 (主なもの) ・区画道路整備 ・ふれあい自然公園(仮称)整備 ・雨水排水施設整備 2 企業誘致 (1) 誘致活動 ・企業訪問 73社 延べ242回 ・企業立地説明会(東京、大阪、名古屋) 173社参加 (2) 新規企業立地 1社 (15年5月譲渡契約、16年2月工場竣工) (3) 既立地企業の工場増設 8社 (4) 立地企業との協力体制の整備 ・トップ会の開催 ・北陸電力(株)との協定締結	
(2) 企業活動に必要な工業用水を安定的に供給します。	区 分	〔成果と残した課題等〕	
		給水制限、断水なしに安定的に工業用水を供給 1 県営第一工業用水道事業 (1) 給水先企業数 8社 (2) 1日当たり給水量 36,990m ³ (3) 施設・設備の整備 ろ過装置電動弁用蓄電池更新等 2 福井臨海工業用水道事業 (1) 給水先企業数 50社〔1社増加〕 (2) 1日当たり給水量 30,636m ³ 〔863m ³ 増量〕 (3) 施設・設備の整備 舟橋テレメータ更新等	
(3) テクノポート福井の立地企業から排出される汚水を適切に処理し、健全な産業活動を支援します。	区 分	〔成果と残した課題等〕	
		テクノポート福井浄化センターにおいて下水処理を実施 1 加入企業数 テクノポート福井立地企業87社 (2社増加) 2 処理方法 生物処理および活性炭処理 3 処理水量 日量9,607m ³ 〔563m ³ 増量〕 年間3,350千m ³ 〔22千m ³ 増量〕	
3 地球環境の保全 (1) クリーンエネルギーである水力発電について、電力の安定供給を図るとともに、未開発地点の調査を行います。	区 分	〔成果と残した課題等〕	
		1 発電実績 約2億5千万kWh(目標の約104%) ・一般家庭約7万世帯分の年間消費電力量に相当 ・原油換算でドラム缶約30万本分を節約 2 開発可能地点の調査(平成13年11月から実施中) ・竹田川上流の丸岡町上竹田地点 ・真名川上流の大野市温見地点および熊河地点	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 (企業局)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分] 実施し、所期の成果をあげました。 実施し、現在、取組みを継続中です。
- 未着手です。

役職	企業局長	氏名	寺坂 智昭
取 組 項 目		取 組 結 果	
(2) 新エネルギーの導入とその普及啓発を目的とした風力発電を実施することにより、石油代替エネルギーを確保します。		区 分	
		[成果と残した課題等] 1 発電実績 約314万kWh(目標の約72%) ・一般家庭約870世帯分の年間消費電力量に相当 ・原油換算でドラム缶約3,800本分を節約 2 普及啓発 ・小学生など見学者へのパンフレット配布 ・福井市都市景観賞を受賞(11月)	
(3) 河川水を水源とした工業用水および水道用水を供給し、地下水位の低下を防止します。		区 分	
		[成果と残した課題等] 1 県営第一工業用水道事業 (1)水 源 日野川の伏流水 (2)給水先企業数 8社 (3)年間給水量 13,460千m ³ 2 福井臨海工業用水道事業 (1)水 源 九頭竜川の表流水 (2)給水先企業数 50社 (3)年間給水量 11,300千m ³ 3 坂井地区水道用水供給事業 (1)水 源 竹田川の表流水 (2)給 水 先 坂井地区1市4町 (3)年間給水量 16,124千m ³ 4 日野川地区水道用水供給施設の建設 榊谷ダムを水源として丹南地区2市4町に水道用水を給水する。(平成18年度給水開始予定)	
(4) テクノポート福井の立地企業から排出される汚水を適切に処理し、公共用水域の水質を守ります。		区 分	
		[成果と残した課題等] 1 臨海下水道事業において水質検査を徹底 (1)COD、BOD、SS、PH等8項目(毎日) (2)カドミウム、鉄、マンガン等41項目(月2回) (3)ダイオキシン(年1回) 2 水質に関する意識啓発 ・排水企業担当者会議の開催(7月) ・工下水道協議会の開催(7月)	
4 職員の資質の向上と安全衛生管理の取組み (1) 民間的経営感覚を取り入れるため、私自身が、福井県中小・中堅企業経営革新研究会(仮称)に参加するのをはじめ、職員には経営・経理や施設の運転管理に関する技術研修等を、積極的に受講させることにより、効果的かつ効率的な事業運営を図ります。		区 分	
		[成果と残した課題等] 1 福井県中小企業経営革新フォーラム受講および伝達講習 各4回 2 研修受講 48講座 187名 (主な研修) ・経営改革セミナー ・衛生管理者免許試験受験準備講習 ・地方公営企業財務会計講習会 ・企業局職員研修会(研究発表会) ・水道技術管理者資格取得講習会	

平成15年度 取組項目に係る結果報告 (企業局)

(平成16年3月末現在)

取組結果の区分】 実施し、所期の成果をあげました。 実施し、現在、取組みを継続中です。
 - 未着手です。

役職	企業局長	氏名	寺坂 智昭
取組項目		取組結果	
(2) 安全衛生委員会等の活動を積極的に推進し、現場業務の安全衛生を向上させることにより、効率的な事業経営を進めます。		区 分	
		[成果と残した課題等] 1 職場安全点検の実施(8月、11月) (1)15年度中の改善必要項目 ...26項目 (2)改善実施項目 ...26項目(すべて対応) 2 衛生管理者による職場巡視、衛生管理の呼びかけ ・毎週実施 3 現地研修会の開催(10月) ・滝波川第一発電所で実施 ・参加者 38名 4 企業局安全衛生研修会の開催(2月) ・参加者 27名	